

学習状況診断票（算数）小学校 第5学年

5年 組 番 名前

領域	問題番号			出題のねらい	評価の観点		
	大問	小問	通番		考え方	表処現理・	知理識解・
数と計算	①	1	1	小数×小数の計算をすることができる。			
		2	2	小数÷小数の計算をすることができる。			
		3	3	分母の等しい分数のたし算の計算をすることができる。			
		4	4	分母の等しい分数のひき算の計算をすることができる。			
	②	1	5	数のしくみがわかっている。			
		2	6	ある数の100倍の大きさの数を求めることができる。			
		3	7	ある数の1/100の大きさの数を求めることができる。			
	③	1	8	分数を小数で表す方法がわかっている。			
		2	9	小数と分数を数直線上に表し、大きさを比較することができる。			
	④	1	10	小数の乗法の式を考えることができる。			
		2	11	小数の乗法の計算のしかたを考えることができる。			
	⑤	1	12	計算のきまりがわかっている。（※）			
		2	13	計算のきまりをもとにして、工夫した計算の仕方を考えることができる。			
量と測定	⑥	1	14	三角形の面積の求め方がわかっている。			
		2	15	平行四辺形の面積の求め方がわかっている。			
	⑦	図・式	16	図形の面積の求め方を考えることができる。			
図形	⑧	1	17	長方形の辺の長さや角の大きさ、対角線のきまりがわかっている。			
		2	18	対角線の長さや交わり方からどんな四角形になるかがわかっている。			
	⑨	角度	19	平行な直線とほかの直線との交わり方がわかっている。			
		直線	20	垂直な直線の意味がわかっている。			
	⑩	1	21	計算による三角形の角の大きさの求め方がわかっている。			
		2	22	多角形の角の大きさの和の求め方を考えることができる。			
数量関係	⑪	1	23	平行四辺形の底辺と面積の関係を式で表すことができる。			
		2	24	平行四辺形の底辺を何倍かしたときの、面積の変わり方を考えることができる。			
		3	25	数量の関係のきまりを使って考えることができる。			

※ 5(1) 領域は、数量関係

/7 /8 /10

今後の学習に向けて *自分ががんばりたいところに○を付けましょう。

考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・テープ図や数直線から数量の関係をつかみ、整数をかける計算をもとにして、小数をかける計算のしかたを考えましょう。 ・図形の面積を求めるときには、面積を分けたり、つけ加えたりして、面積を求めることができる図形に直して、求められないか考えましょう。 ・多角形の角の大きさの和を求めるには、三角形や四角形の角の大きさの和を求めるときの考え方をうまく使えないかと考えましょう。 ・ある量をえると、それにもなって変わる量を見つけ、その変わり方のきまりを見つけましょう。そして、そのきまりがどんなときでもいえるのかを確かめ、きまりをつかって答えを見つけることはできないかと考えましょう。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・小数をかけたり小数でわったりする計算では、答えの大きさの見当をつけたり、整数どうしの計算と同じところや違うところに目をつけたりして、計算のしかたをふり返りましょう。 ・整数や小数を10倍、100倍したり、$1/10$、$1/100$の大きさにしたりしたときの表し方をまとめましょう。 ・小数や分数を数直線上に表すには、その数が何のいくつ分かということと、数直線の1めもりの大きさがどれだけなのかに目をつけましょう。 ・数量の関係を○や△を使って式に表すには、まず、言葉の式(公式)を考え、数量を○や△に置きかえるようにしましょう。 	
表現・処理	<ul style="list-style-type: none"> ・整数と小数のしくみの同じところをまとめましょう。 ・分数と小数の大きさの比べ方を復習しましょう。 ・教科書にある計算のきまりの○、△、□に数をあてはめて、計算が簡単になることを確かめましょう。 ・三角形や平行四辺形の面積を求める公式を見直して、公式にあてはまる長さを見つけましょう。 ・いろいろな四角形を、頂点や辺の個数はどれだけか、辺や角が等しいか、辺や対角線が平行、垂直の関係にあるかなどに目をつけてまとめましょう。 	
知識・理解		